

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

14135

史跡和歌山城保存修理事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	1	文化財の保護

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	和歌山城公園管理費		
	大事業	和歌山城公園管理事業		
中事業	史跡和歌山城保存修理事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	和歌山城整備企画課 岡本 和也	435-1044
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
事業目的	和歌山城の史跡整備については、平成6年度に策定した「史跡和歌山城整備計画」を基本に、事業計画を作成し、史跡和歌山城整備委員会の意見や、国・県との協議のもと、保存整備を行っています。	史跡和歌山城整備計画に基づき、整備事業を行う。			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	西の丸西側石垣修理(施工) 大奥・能舞台の復元(構想) 天守閣耐震診断、天守台・岡口門附土塀石垣調査	老朽化した石垣、二の丸西部、二の丸の整備に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡整備委員会での協議を行っています。	老朽化した石垣、二の丸西部、二の丸の整備に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡整備委員会での協議を行っています。	老朽化した石垣、二の丸西部、二の丸の整備に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡整備委員会での協議を行っています。	老朽化した石垣、二の丸西部、二の丸の整備に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡整備委員会での協議を行っています。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	47,552	38,207	30,436	18,118	14,624	15,055	5,854	0	33,674	0	
伸び率(%)	0%	0%	△36%	△52.6%	△52%	△16.9%	△60%	△100%	475.2%	0%	
人件費	正規職員	24,168	24,008	24,056	24,216	24,485	23,921	23,921	0	23,921	0
	正規職員以外	4,948	4,857	5,908	5,908	5,740	4,750	4,431	0	4,431	0
	小計	29,116	28,865	29,964	30,124	30,225	28,671	28,352	0	28,352	0
国庫支出金	16,972	14,449	14,456	3,386	7,305	10,460	2,770	0	16,837	0	
県支出金	741	614	663	133	364	522	56	0	842	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	6,400	0	
その他	0	0	0	0	7,309	5,127	3,081	0	15,429	0	
一般財源(税等)	29,839	23,144	15,317	14,599	△354	△1,054	△53	0	△5,834	0	
所要人数(人)	正規職員	3.03	3.01	3.01	3.03	3.04	2.97	2.97	0.00	2.97	0.00
	正規職員以外	2.15	2.11	2.46	2.46	2.46	1.96	1.82	0.00	1.82	0.00
主な予算内訳	調査委託料(9,156千円)・発掘調査委託料(4,541千円)										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
調査場所数	箇所	目標値	1	1	1	1	1	
		実績値	0	1	1			
		達成度(%)	%	%	%	%	%	
史跡和歌山城保存整備委員会開催回数	回	目標値		2	2	2	2	
		実績値		2	4			
		達成度(%)	%	%	%	%	%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「史跡和歌山城整備計画報告書（平成28年度改訂版）」を基本に、事業計画を作成し、保存整備を継続している。
見直し・改善内容	令和元年度から、二の丸及び西の丸基本計画の策定に着手している。